

24年度当初予算 総額442億5,400万円

24年度の一般会計と5特別会計の予算総額は442億5,400万円で、前年度に比べ4億2,900万円(1.0%)の増になりました。そのうち一般会計は267億7,000万円で、1億8,000万円(0.7%)減少し、7年ぶりにマイナスとなっています。

24年度予算は、現在の地方公共団体を取り巻く厳しい財政環境の中、引き続き市民生活重視の施策展開を基調にして、持続可能な都市経営の確立を目指すとともに、将来を見据えた「五つの力」を予算の柱とする活力あるまちづくり、魅力的なまちづくりを目指した予算としました。

中、引き続き市民生活重視の施策展開を基調にして、持続可能な都市経営の確立を目指すとともに、将来を見据えた「五つの力」を予算の柱とする活力あるまちづくり、魅力的なまちづくりを目指した予算としました。

図財政課 ☎70・5601。

歳入(一般会計) 市税は126億円、前年度比1.5%の減少

歳入の47.1%を占める市税は、市民税が税制改正に伴う年少扶養控除の廃止などにより増が見込まれますが、固定資産税が3年に一度の評価替えなどにより減が見込まれ、市税全体では前年度に比べ1億9,000万円の減の見込みです。

市の借入金である市債は、新たな神崎遺跡保存整備事業債などの借り入れで2億5,000万円の増になり、市債償還金の公債費は17億2,000万円で、市債の24年度末の現在高見込みは169億6,000万円、前年度末に比べ2億8,000万円増の見込みです。

歳出(一般会計) 予算額1位は民生費、伸び率1位は教育費

歳出では、各福祉施策へ支出する民生費の構成割合が引き続き一番高くなっています。昨年2月に国の史跡に指定された神崎遺跡の用地購入費の計上などにより、教育費の伸び率(15.9%)が高くなっています。24年度の歳出で、拡大などを行っている事業には次のようなものがあります。(かっこ内の金額は事業予算額)

【民生費】

◎小児医療費助成の年齢拡大(2億8,357万円)

小児の健康増進、保護者の経済的負担の軽減を図るため、小児の通院医療費助成(窓口負担)の対象年齢が、10月の診療費から、現行の小学校3年生までから小学校6年生までに拡大します。

◎青少年体験事業の開催(188万円)

自然の中で、親子の絆をテーマに親子リポートレッキング教室や親子カヌー教室、科学のおもしろさを体験するロボコン(ロボット・コンテスト)教室を新たに開催します。

【土木費】

◎新武者寄橋への防護柵設置(2,550万円)

児童の通学路安全対策のため、目久尻川に架かる市役所南通り(都市計画道路早川本蓼川線)の新武者寄橋の両側に、歩道への車両の進入を防ぐ柵を設置します。

◎公園遊具などの更新(1億3,500万円)

綾南公園や綾西公園などの老朽化で一部利用になっている複合遊具を改修します。風車公園のすべり台のある場所などのゴムチップ舗装化や、雨水流出防止の排水工事を行います。

【教育費】

◎デジタル教科書の全中学校への配置(669万円)

「分かる・楽しい授業」実践や学習意欲の向上を図る工夫の重要性から、教科書に準拠した国語など5教科のデジタル教科書を中学校全校に整備します。

◎神崎遺跡保存整備事業(7億3,719万円)

国史跡の神崎遺跡の保存、管理とその活用のため、保存整備計画を策定し、用地購入など史跡指定地の公有地化を進めます。

【総務費】

◎防災倉庫・避難所資機材の整備(8,995万円)

地震などの災害に備えるため、防災倉庫15台、災害用毛布7,300枚を追加整備します。応急対策に必要な水害用ポンプ、使い捨てカイロ、発電機用ガソリン缶などの防災資機材とおかゆ、粉ミルクなどの食糧を備蓄します。

【衛生費】

◎太陽光発電設備設置への助成(2,680万円)

地球温暖化対策を推進するため、太陽光発電設備設置費用の一部を助成します。24年度からは、対象をこれまでの一般住宅に加え、共同住宅と事業所にも拡大します。

特別会計 5会計全体で174億8,400万円、前年度に比べ3.6%の増

国民健康保険事業は、被保険者の高齢化や医療の高度化などによる医療費の増加により、介護保険事業は、介護認定者や施設サービス利用者の増加などに伴う保険給付費の増加により、後期高齢者医療事業は、被保険者の増加や保険料率などの改定により増加しており、これらの会計を含む特別会計全体では、3.6%の増になっています。

各会計の予算規模

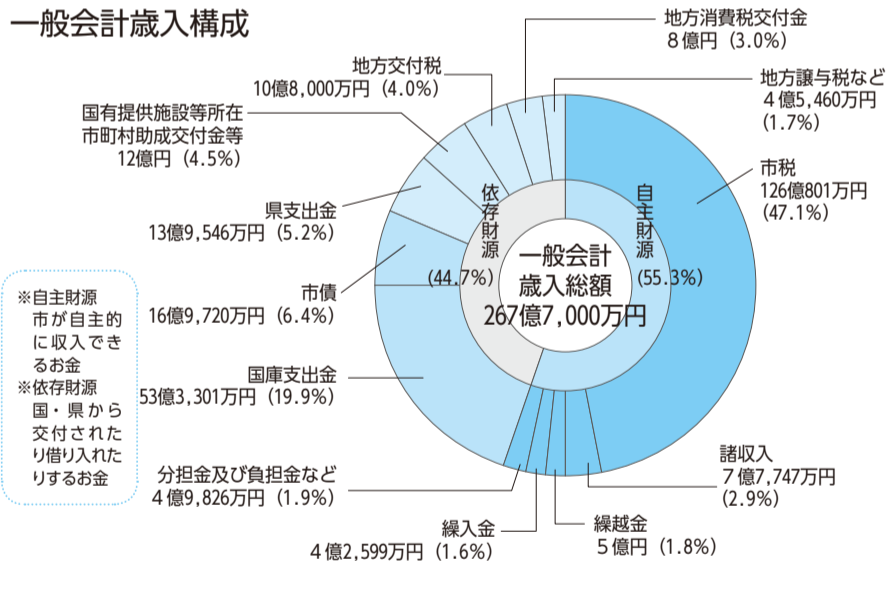
会計名	予算額	前年度比較		
		増減額	増減率	
一般会計	267億7,000万円	△1億8,000万円	△0.7%	
特別会計	国民健康保険事業	95億9,000万円	2億6,100万円	2.8%
	下水道事業	29億6,100万円	6,200万円	2.1%
	深谷中央特定土地区画整理事業	7億2,000万円	△2億5,600万円	△26.7%
	介護保険事業	35億6,500万円	4億7,200万円	15.3%
	後期高齢者医療事業	6億6,600万円	7,000万円	11.7%
	計	174億8,400万円	6億900万円	3.6%
合計	442億5,400万円	4億2,900万円	1.0%	

市税1万円の使い道

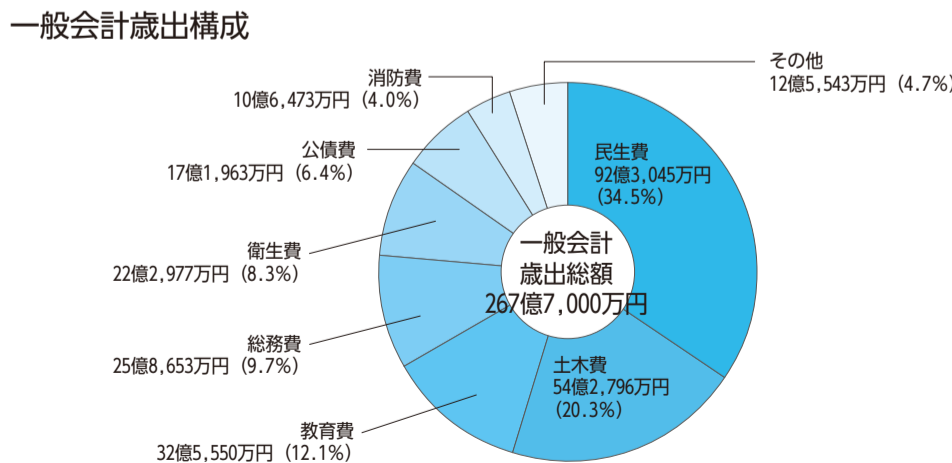
目的	金額	事業内容
民生費	2,535円	各福祉施策における手当の支給、保育園や障害者施設の運営、小児医療費の助成など
土木費	1,844円	道路・公園の整備・維持管理や計画的なまちづくりに要する経費など
総務費	1,309円	庁舎の維持管理など行政の運営に要する経費、防災対策に要する経費、選挙経費など
教育費	1,193円	小・中学校の整備や運営、スポーツセンター・文化会館などの運営、維持管理など
衛生費	1,167円	各種検診や予防接種などの保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策など
公債費	970円	市の借入金(市債)の償還に要する経費
消防費	573円	消防署や消防団などの活動に要する経費、消防庁舎や車両の維持管理など
その他	409円	市議会の運営、地域産業の振興、勤労者対策など
計	10,000円	

※一般財源の充当割合で算出したものです

一般会計歳入構成



一般会計歳出構成



予算の推移

(単位：千円、%)

区分	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
総額	当初予算総額(一般会計)	24,430,000	25,370,000	25,880,000	26,950,000	26,770,000
	伸率	2.6	3.8	2.0	4.1	△0.7